

Pharmacoeconomic effect of compliance with pharmacist' s intervention based on cancer chemotherapy regimens: a cohort study

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2017-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/46441

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



論文の内容要旨及び審査結果の要旨

受付番号 医薬保博甲第 57 号 氏名 林 誠

論文審査担当者 主査 崔 吉道

副査 長瀬 啓介

矢野 聖二

学位請求論文

題名 Pharmacoeconomic effect of compliance with pharmacist's intervention based on cancer chemotherapy regimens : a cohort study
掲載雑誌名 *Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences* 第 1 巻 10
平成 27 年 3 月掲載

がん化学療法を安全に施行するために、治療計画書としてレジメンが使用される。レジメンには化学療法を実施するかどうかの中止基準が規定されているが、実臨床においては中止基準を遵守せずに化学療法を施行する場合がある。その場合は副作用が重篤化し治療効果を減少させるだけでなく、副作用治療が必要となり経済的にも悪影響を及ぼす可能性がある。そこで、がん患者が安心して化学療法を受けるために、レジメンを遵守して化学療法を施行することが治療効果と経済性に優れているかどうかを検討した。

研究デザインは前向きコホート研究とした。2010 年 4 月から 1 年間に金沢医療センターでがん化学療法を施行された 374 人のうち、レジメン中止基準となる好中球減少を起こした 108 名を対象とした。レジメンを遵守して化学療法を中止した群を complying group、レジメンを遵守せず化学療法を施行した群を non-complying group に分類し、治療効果の指標として Relative dose intensity (以下 RDI)、経済的指標として好中球減少治療にかかわる費用を用いて検討した。医療費は支払い者の立場から直接費用により検討した。好中球減少治療にかかわる費用に影響を及ぼす因子について重回帰分析を用いて検討した。

RDI は complying group 平均 $85.2 \pm 10\%$ 、non-complying group 平均 $79.3 \pm 15\%$ であり、complying group が有意に高い値を示した ($P=0.02$)。試験期間中に好中球減少治療に要した患者あたりの累計費用は complying group 平均 $194,400 \pm 41,200$ 円、non-complying group 平均 $439,400 \pm 83,700$ 円であり、complying group が有意に低い値 ($P=0.04$) を示し、経済効果は一人当たり 245,000 円の治療費の削減となった。また、好中球減少治療にかかわる費用はレジメン遵守と白血病の治療が独立した影響因子であることが示された。(adjusted $r^2=0.69$, $P<0.001$)

がん化学療法においてレジメン遵守することは RDI を高率に保ち、経済効果に優れていることが明らかとなった。

以上のことから、本研究は、がん患者を対象とした、安全、有効かつ医療経済上も優れた化学療法の施行に貢献できるものであり、学位授与に値すると評価された。